

参考文献の記述方法について

1. 文献は本文の引用箇所の肩に 1)、1~5)、1,3~5)などの番号で示し、本文の最後一括して引用番号順に記載する。

2. 参考文献リストのフォントについては、下記の通りとする。

原稿が和文のときの参考文献リストのフォントの大きさ：8 ポイントを用いる。

原稿が欧文のときの参考文献リストのフォントの大きさ：9 ポイントを用いる。

和文のフォントスタイル：MS 明朝

欧文のフォントスタイル：Times New Roman

配置： 2 段組み

3. 参考文献リストの記述形式は、下記を参考とする。

3.1 雑誌中の論文：

著者 1, 著者 2, 著者 3 : 論題, 掲載誌名, 巻(号), 開始頁-終了頁, 出版年.

巻(号)の号については、学会の慣例によって巻のみとしても良い。

(和文誌の記述例)

千科大太郎, 岡理大太郎 : 銚子市における薬剤師の育成について. 月刊薬剤師教育, 108(8), 55-70, 2012.

(特集記事の記述例)

岩坂康信 : 特集, 東アジア環境共生系 : 黄砂は何を運んでくるのか. 科学, 78(7), 729-735, 2008.

(欧文誌の記述例)

Yamada T, Yamada H, Chikadai T : Affair of the educational programs on emergency management at the Chiba Institute of Science. Education in Japan, 5(11), 111-120, 2012.

3.2 単行本の場合 (1冊全てを参考文献とした場合)：

著者 1, 著者 2 : 書名. 出版社名, 出版地名, 出版年.

(単行書 和書)

千科大太郎, 岡理大太郎 : 銚子市の薬剤師育成を考える. 桜出版, 東京, 2012.

日野原重明監訳 : 臨床決断分析. 医歯薬出版, 東京, 1992 (Weistein MC, Finberg HV : Clinical decision analysis. WB Saunders, Philadelphia, 1980).

(単行書 洋書)

Chikadai T, Smith G : Emergency management. SpringWorks, Washington D.C., 2012.

3.3 単行書中の 1 章又は一部の場合・論文集 (単行本) 中の論文の場合

(特定のページあるは特定の 1 章・1 論文を利用した場合)：

著者 1, 著者 2 : “章の見出し or 論文名”, 書名. 編者名. 版表示, 出版社名, (出版地名,) 開始頁-終了頁, 出版年, (シリーズ名, シリーズ番号).

(和文単行書中の 1 章の場合)

千科大太郎 : “銚子市の薬剤師育成”, 薬剤師とその育成. 桜出版, 東京, 170-220, 2012.

(英文論文集)

Harrison BR : “Risks of handling cytotoxic drugs”, The Chemotherapy source book. Perry MC, ed. 3rd ed., Lippincott Williams & Wilkins, 566-580, 2001.

Ito K : “The geist in the institute : The production of quantum physicists in 1930s Japan”, Pedagogy and the practice of science. Kaiser D, ed. MIT Press, 151-184, 2005.

3.4 学会抄録集等の場合

著者名：“論文名”. 会議報告書名. 会議開催地, 会議開催年月, 会議主催機関名. 出版者, 出版年.
(国内の学会の場合 抄録集すべてを利用した場合)

第 79 回日本整形外科学会学術総会抄録集. 横浜, 2006-05-18/21.

(国際学会の場合 特定の 1 発表を利用した場合)

Arnold A : “Gateways to chemical information - the MetaChem and Janus Projects down-under”. ChemInt'99. Washington D.C., 1999-09.

出版者は、会議主催機関名と同じ場合は省略してもよい。出版年は、会議開催年と同じ場合は省略してもよい。

3.5 新聞記事の場合

著者名：記事タイトル. 新聞名, 地域版名. 朝夕刊の別や版, ページ or 面, 掲載日付.
(和文誌)

泊次郎 : CO₂ の影響か自然変動か 温暖化、解明これから (気候大変動) . 朝日新聞. 夕刊, 科学面, 1999-04-02.

東大・早大など、9 大学学長が緊急提言、研究費減に危機感. 日本経済新聞. 朝刊, 46, 2010-03-19.

(欧文誌)

Partlow J, Wilson S : Obama presses Karzai for cooperation : FIRST VISIT AS PRESIDENT U.S. wants government cleanup in Afghanistan. The Washington Post. A01, 2010-03-29.

3.6 ウェブサイト中の記事の場合

著者名：“ウェブページの題名”. ウェブサイトの名称. 更新日付. 入手先, (入手日付).

内閣府編：交通安全白書. 平成 17 年版, 2005. <http://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/index-t.html>, (参照 2006-03-07).

Mabon SA, Misteli T : Differential recruitment of pre-mRNA splicing factors to alternatively spliced transcripts in vivo. PLoS Biol, 3(11), e374, 2005. <http://biology.plosjournals.org/perlserv/?request=get-document&doi=10.1371/journal.pbio.0030374>, (cited 2006-03-09).

ページ付けが無いので論文番号(e374)を記述, 入手先として URL を記述

4. 記述上の注意：

- ① 和文の場合、著者名の姓名の間は空白をあけない。欧文の場合、著者名は“姓 名”の順に記述し、姓名の間は半角スペースをあける (名はイニシャルのみの表記でも良い)
- ② 執筆者名の記載人数は制限を設けませんが、4 名以上の場合は 3 名以上を記載し、それ以上の執筆者名について、和文の場合は“他”と、欧文の場合は“et al.”と略しても良い
- ③ 和文・欧文を問わず、次の区切り記号 (. ,) (ピリオド カンマ) は半角表記+半角スペース 1 字とし、(:) (コロン) は半角スペース 1 字+半角表記+半角スペース 1 字とする
※ 論文・著書リストと記載方法が異なるので、注意すること。
- ④ 次の記号 (- ()) (ダッシュ 右括弧 左括弧) は和文・欧文を問わず半角表記とする
- ⑤ 和文・欧文を問わず、単行本の書名は略記せずに正式名を記述する
- ⑥ 掲載誌名については、和文誌名は省略せず完全誌名を記述する。欧文誌名は、国際規格に従った略記、または略記せずに完全誌名を記述する。
- ⑦ 掲載誌名や巻号を太字あるいは斜字にすることは不要である。
- ⑧ 日付を書く場合は、YYYY-MM-DD とする。議事録などの期間を書く場合は、DD/DD とする。